

「小川ゆうじの読者だより」

小川・吉開 検索
 田尻町支部党活動募金
 1口200円のお願い
 なんでも相談は
 月・水・金の
 午前10時～正午
 465-9939

12月の弁護士相談は
 21日(金)
 夕方6時～8時
 事前予約が必要です

総務建設常任委員会 視察報告
 仁部委員長 小川 大門 東 坂口

1月24日
 25日



避難訓練の仕方や「授援力をつける」ということを勉強。

5分で到達する津波の避難訓練は、年6回、夜8時に開催も昭和50年代から東海地震対策にとり組んできた沼津市。昨年は、夜間も含め、年6回全市のなざまざまな津波避難訓練を行ったという。正直、津波到達時間50分の我々の地域とは違うと感じた。避難所運営訓練を始め、訓練の指導の仕方など大いに参考になると思う。初期から訓練にとり組んできた人たちも高齢化して、現在は、新たに防災ボランティアを育成するために力を入れているという。そして、いざボランティアを受け入れるための体制・知識など「授援力」の大切さを勉強した。

「授援力」とは・・・

災害発生時にボランティアを地域で受け入れる環境・知恵などを「授援力」といいます。近年、防災ボランティア活動は、被災地の復旧・復興支援、被災者の生活再建支援等に大きな役割を果たしてきておりますが、これまで、被災地での受け入れ環境が整っていませんでした。ボランティアの力が十分に発揮できていない事例もみられています

全国町村議員会館で「政務活動費」など改正された「町村議会会議規則」について勉強。

地方自治法の改正で「政務調査費」が「政務活動費」として変更され、使途が広がったことが懸念されていましたが、田尻町議会は金額は同じで下記の変更点にとどめましました。改めて、この変更点を勉強。また、いつでも議会が開かれるようにできる「通年議会」制度の問題点についても深めることができました。

田尻町議会の いわゆる「研修費」使途の変更点

「公聴費」「要請陳情等活動費」が増える	
これまで、「政務調査費」として	→ 2013年4月から「政務活動費」に変更され
「調査研究費」	「調査研究費」
「研修費」	「研修費」
「会議費」	「広報・公聴費」
「資料作成費」	「要請陳情等活動費」
「資料購入費」	「会議費」
「広報費」	「資料作成費」
「事務費」	「資料購入費」
	「事務費」

※金額は、変更なく、議員1人月額5,000円

「復古」の「準与党」？と思った。 1月31日付「赤旗」2面より

30日の衆院本会議での代表質問。「日本再生のため頑張っていたきたい」。維新の平沼赳夫国会議員団代表は、「第2与党」ともいえる質問を繰り広げました。松山藩元締役・山田方谷の紹介に質問の半分を費やし改革の必要性を延々と説き、皇室問題に、「女性宮室」に反対し、「日本の皇室は125代男子で続いた世界唯一の存在」と述べ

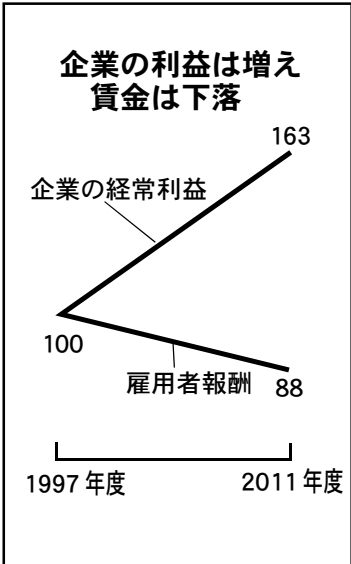
国会発

「是」だけの維新

ました。安倍内閣の経済政策は「評価する」。軍事費は「大幅に上げざる決断をしていたら良かった」。さらに「廃憲論」をぶって、新憲法の制定を主張。安倍首相は「まず多くの党が主張している憲法96条改正にとり組んでいく」と応じました。「是は是、非は非の基本姿勢で」といいながら「是」だけしか見えてきません。「維新」ではなく、「復古」の「準与党」と呼ぶしかありません。

「物価より、賃金上げて！」が国民の声です！

31日吉見ノ里駅前早朝宣伝で訴えました。裏面に掲載のピラの受け取りもよかった。



経済をまともに見る人の常識的な見方だと思ふ。『エコノミスト』誌 1月15日付 横田恵美編集長
 『安倍首相のデフレ脱却策を聞いてみると、この人は国民の家計や雇用にどれだけ関心があるのだろうか、と気になる。インフレ期待の醸成というが多くの国民の期待は賃金の上昇だ』
 『デフレが深刻化したのは、企業が内部留保や株配当に偏重し、人件費を圧縮したからだ。この認識なくして、金融緩和や公共事業で大盤振る舞いしても、お金はまわらない。』